

Julabo Case Study

JULABO PRESTO® A80

20Lの反応器を

+100°Cから+50°Cに冷却



目的

本ケーススタディーは、PRESTO A80と20Lのガラス反応器を接続し冷却試験を行いました。A80は2mのメタルチューブで接続します。A80は+100°Cから+50°Cの間でプログラム運転を行います。

環境

室温 +20°C
湿度 45%
電源 230V/50Hz

テスト条件

ユラボ装置	PRESTO A80
冷却能力	+20°C 1.2kW 0°C 1.2kW -20°C 1.1kW
加熱能力	1.8kW
バンドリミット	無
吐出圧	0.40bar
循環液	ユラボサーマルHL80
反応器	20Lガラス反応器(Asahi) 18LのサーマルHL40を充填
ジャケット容量	7L
温度制御	外部温度制御(ICC)



テスト結果

次ページグラフ参照: A80では+100°Cから+50°Cまで1時間10分でオーバーシュートせずに到達しました。

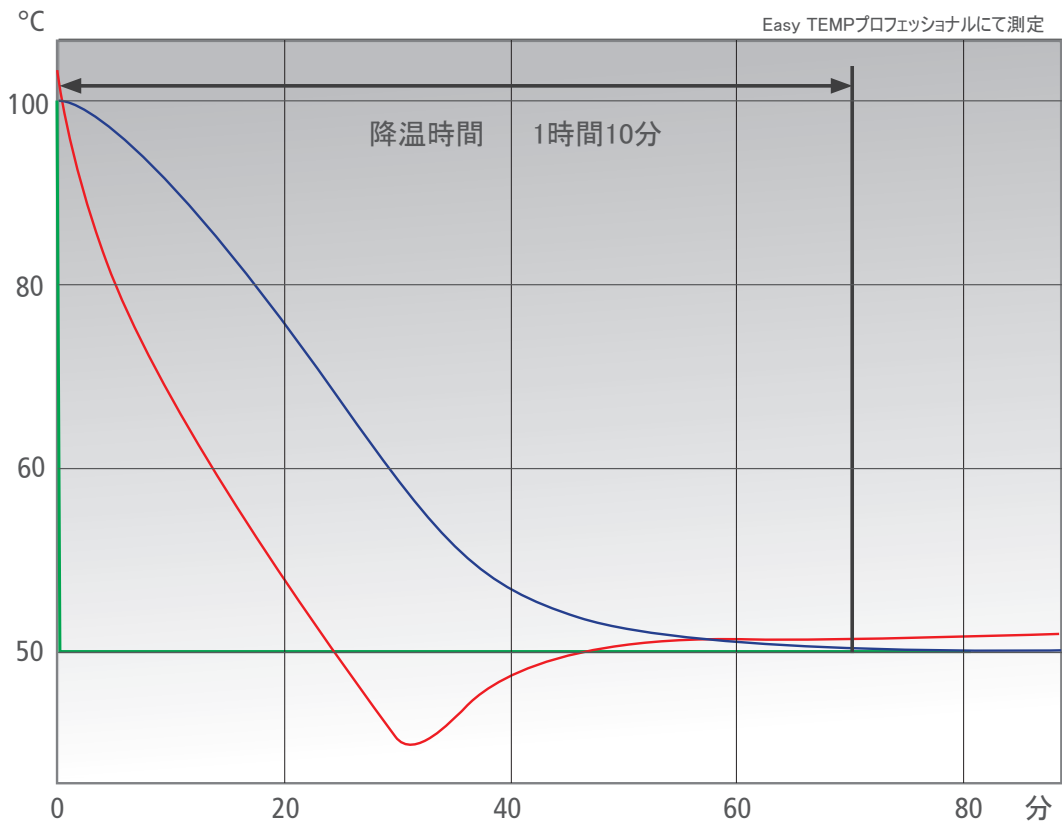
情報

PTFEコーティングされたPt100温度センサーが使用可能です。

次のページにも情報が載っています。



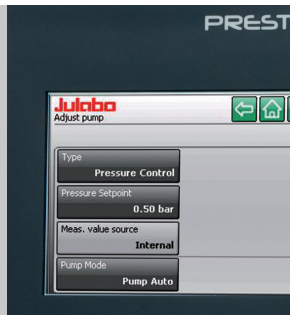
JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0



- 設定温度
- 反応器内温度
- ジャケット温度

情報

ポンプ圧力を調整する為のオプション画面があります。お客さまにてポンプ圧力を設定する事が可能です。



情報

PRESTOの全ての機能をイーサネットインターフェースにて操作する事が可能です。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0